

地域医療構想にかかる医療・病床懇話会の意見（概要）

開催日時：1月11日 場所：大阪府池田保健所

1 地域医療構想の推進に関する意見

（高度急性期・急性期病床について）

- 豊能二次医療圏の高度急性期病床は過剰としているが、2,146床のうち、特定機能病院2病院で全体の60%にあたる1,288床を占めている。この2病院以外の高度急性期を減らすと、本当に豊能二次医療圏の高度医療が成り立つのか懸念する。
- 令和4年12月の豊能地域救急メディカルコントロール協議会でも、本当に豊能二次医療圏の高度急性期・急性期の病床数は足りているのかという声があった。大阪府が作成している応需率のデータでは、大阪の8つの二次医療圏の中で、豊能二次医療圏は下から2番目くらいに悪い。医療・病床懇話会でも、もっと検討してほしい。
- 豊能二次医療圏は偏在が大きく、局所的にICU・HCUが足りない。また、救急医療を受け入れる急性期病床が足りないと思う。

2 病院の将来プランに対する意見・質問等

（1）公立・公的病院

●箕面市立病院：

（病院への質問）

箕面市立病院が指定管理者を公募するということは、公立病院ではなく民間病院になると考えたらいいか。補助金を受けている病院が回復期リハ病床をするということは、民間病院を圧迫するということになる。

（病院の回答）

公立病院として公設民営という形で、民間病院になるわけではない。政策医療（救急等）の部分については箕面市から繰入として補助金が出るが、回復期病床の部分は、市からの補助金はない。

(2) その他、民間病院等に対する意見・質問等

● 豊中若葉会病院：

(病院への意見)

阪大病院の救命センターでは 20 床程の病床をどのように稼働していくか、空床をつくるのに非常に苦労している。豊中若葉会病院は、気管切開をした人工呼吸器を装着している挿管患者のような非常に難しいケースを引き受けてくれる最後の砦になっており、数値では評価できない地域医療への貢献も評価すべき。

3 保健医療協議会においてプラン等の内容について説明を依頼することとなった病院

● 豊中若葉会病院

● 豊中敬仁会病院